



ススキ [芒・薄] (オバナ)

5本の樹

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 イネ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

秋の七草にも詠まれ古来より身近な植物。河川、草原、高原などいたるところで見かける。かつては茅（かや）と呼ばれ屋根材として、また、家畜の飼料として利用され、集落の近くには茅場があった。今では十五夜の飾りなど秋の風情を感じる観賞用として親しまれている。



Memo

「尾花（おバナ）」は、ススキの穂を指す古語。動物の尾に見立てた。ススキ全体を指すこともある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期								■					
	果実										■			
	紅葉													
	施肥	(不要)												
	剪定					■								■

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	陰	
土壌	乾	○	○	○	湿
寒さ	強	○		弱	
暑さ	強	○		弱	
潮風	強	○		弱	

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○				○	

ポイント 鉢やマスなどを利用して生育範囲を制限するとよい。当初は枯れた姿も風情があるが、年々大きくなる株の刈り取りなど手間がかかる。葉の縁で手を切らないよう注意。切り花にて楽しむほうが無難。

剪定 生長は野性的。年々大きくなるので、数年ごとに株分けしないと手に負えなくなる。生育範囲を決めて見切りをするとよい。5月前後に膝の高さ程度で刈り揃えると大きくなり過ぎずに穂を楽しめる。

病虫害 病虫害は少ない。根回りに山野草のナンバンギセルが寄生することがあるが、これはこれで観賞価値がある。

呼べる鳥 ホオジロ・アオジ・ホオアカ

呼べる蝶 ヒメウラナミジャノメ・[イチモンジセセリ](#)
キマダラセセリ・ジャノメチョウ
クロヒカゲ・コチャバネセセリ
チャバネセセリ・ヒメジャノメ
ヤマキマダラヒカゲ・ヒメキマダラセセリ

